

令和2年10月27日

JR 島本駅西地区まちづくり委員会御中

大阪大学招へい研究員
豊田裕章

JR 島本駅西地区について歴史的視点からの提言

水無瀬離宮がかつて存在した水無瀬の地域は、当時においては日本有数の名勝でした。本提言は、大阪府島本町の桜井地域を中心に、島本町域の歴史的景観や史跡・遺跡を活用したまちづくり、都市デザインに関して提言を行ったものです。

なお、本提言には一部、ここ数年、水無瀬殿(水無瀬離宮)研究会の運営委員の間で話し合ってきた内容も、ご本人の承諾を得て加味しています。

私は、後鳥羽上皇の水無瀬殿を複数の御所群や関連施設を島本町域に広く展開するものであることをこれまでの研究で述べてきました。

今回、島本町桜井の尾山遺跡の発掘調査で、水無瀬殿と関連する遺構が検出されたことにより、桜井地域が水無瀬殿に関連する地域であることが確定されました。また、水無瀬山が桜井背後の山である可能性もさらに高まりました。尾山遺跡の性格に関しては、今後の周辺地域も含めた詳細な調査成果が待たれるところであります。

ところで、尾山遺跡の西の山麓部に、岬状の州浜のような形状を有する農地があります。当該農地は、遺跡分布図に越谷遺跡として示される範囲内にあり、当該農地に西接する場所からは、平成3年度から平成5年度まで行われた名神高速道路内遺跡調査会による発掘調査によって(越谷遺跡第2地区)、鎌倉時代の大量の遺構や遺物が検出されています。また、当該農地周辺、とりわけ御所池は、昭和30年代に庭園史研究の第一人者である森蘊氏によって、平安時代初期の宮苑遺跡である可能性が指摘されていました。

当該農地の約600m北東の場所では、平成26年度に島本町教育委員会の発掘調査によって、鎌倉時代の水無瀬殿に関連するとされる庭園遺構(西浦門前遺跡)が検出されています。また、今回、尾山遺跡から水無瀬殿に関連するとされる遺構が発掘調査によって検出されました。

これらの点よりみると、岬状の州浜の形状を有する当該農地は、水無瀬殿に関連する鎌倉時代の庭園遺跡である可能性がよりいっそう高まったと考えられます。

できれば、このような州浜状の形状を残す農地が、本来一つの池であった可能性の考えられる御所池とともに、土地所有者の方々や建設会社、地域住民の方々等のご理解をいただくことにより、島本町等によって、住民や見学者の安全に配慮がなされた形で、歴史的景観や眺望を体感する公園として保存活用される事が望ましいと考えます。もし開発が行われる場合も、当該農地の地形が盛土などにより保存されることが望ましいと考えます。

また、桜井にまで関連施設を展開する後鳥羽上皇の水無瀬殿は、対岸の男山や東側に開けた眺望を重視した設計思想でなされている可能性が高く、また、桜井の背後の山が、後鳥羽院政期の和歌に詠まれた水無瀬山である可能性も高く、このような景観や眺望を活かした町づくりが望ましいのではないかと考えます。

このような「歴史的景観や史跡・遺跡を活用したまちづくり」というコンセプトが、桜井地域だけではなく、島本町域全体の都市政策に反映され、それが都市デザインの基調となることは、島本町全体の付加価値を高めることにつながると考えます。

水無瀬殿の根本となる御所(本御所)の跡地と伝えられる水無瀬神宮、建保年間に新たに造営された新御所の跡地と推定される現在の関西電力水無瀬住宅の辺り、本御所と新御所をつなぐ馬場や馬場殿と呼ばれる重要な関連施設の存在した可能性が高い第一小学校西側の農地の辺り、山上御所の候補地である鶴ヶ池とその周辺などが、テラスで風景を眺めることのできる島本町民ふれあいセンターを介して、御所池や南側の州浜の形状を残す場所とつながるように、シーケンスデザインを重視した都市整備がなされれば、島本町民や島本町を訪れた町外の見学者が、これらのポイントを散策することにより、約800年前の水無瀬殿を景観や眺望を楽しみながら面的に体感できるような町づくりになるのではないかと考えます。

このようなまちづくりを行うためにも、水無瀬殿や関連する遺跡が国史跡などに指定されることとともに、国や大阪府からの支援を受け保存活用される必要性もあると考えられます。

なお、今回の土地整理事業では、町外から水無瀬殿跡の見学に訪れた人々が、散策を行う起点となるような駅前広場の整備も大きな意味を有すると考えられます。

桜井を含めた島本町の美しさは、かつて谷崎潤一郎が小説『蘆荊』の中での的確に描写しています。そのような美しい景観を有するこの地域は、さらにさかのぼって後鳥羽院政期においては、重要な政治的、文化的拠点であり、日本有数の名勝でした。それは『新古今和歌集』の巨人である後鳥羽上皇がこよなく愛好した場所であり、藤原定家が頻繁に訪れ自らの日記である『明月記』に詳しく記した場所でもあります。現在は大阪近郊のベッドタウンの観を呈している島本町は、およそ800年前には日本の政治や文化の中心となる典雅な場所だったので

す。

このような重要な歴史的景観や史跡・遺跡がまちづくりに活かされ、将来の日本国民にも継承されることが重要であると考えます。

以上